

音訳ボランティア養成のための初級講座 Q&A

養成講座について

Q: 講座には、全くの未経験者でも参加できますか？

A: はい、音訳の基礎から理解できる構成になっていますので、未経験者の方も安心して参加できます。

Q: 講座の受講（申込み）要件はありますか？

A: 特にありません。年齢制限も設けておりません。

ただし、実際のボランティア活動では、基礎的な国語力やパソコンの操作スキルが必要です。

Q: パソコンを持っていませんが受講できますか？

A: 受講は可能ですが、講座後半（第11回～第13回）では、パソコンの操作を学ぶ単元があります。また、実際のボランティア活動では、パソコンの操作が必要となりますので、活動までに用意していただく必要があります。

Q: すべての日程に参加できませんが、受講（申込み）できますか？

A: すべての日程への参加が望ましいですが、やむを得ない事情による場合は、前期（第1回～第10回まで）は2回まで、後期（第11回～第13回まで）は1回までの欠席を認めます。

Q: 体調不良などで休んだ場合、受講料は返金してもらえますか？

A: 一度納入された受講料は、理由を問わず返金いたしません。

Q: 講座の受講費用はいくらですか？

A: 4,200円です。受講料には、13回分の保険料も含まれます。

Q: 講座の受講料はどのように支払いますか？

A: 講座初日に現金でお支払いください。おつりの無いようにお願いします。

受付で領収書を発行します。講座が修了するまで大切に保管してください。

Q: 講座の修了証は発行されますか？

A: 修了要件(前期8回以上、後期2回以上の出席)を満たした方に、修了証を発行します。

Q: 遅刻や早退の取り扱いはどのようになりますか?

A: 15分以上の遅刻や早退は、欠席扱いとなりますのでご注意ください。

Q: 講座ではどのようなことを学びますか?

A: 音訳の基礎知識、発声・発音、読み方、録音技術、著作権、教材の選び方、活動に必要な情報などを学びます。

Q: 講座を受講した後、必ず音訳ボランティアとして活動しなければなりませんか?

A: はい。本講座の目的は、市内で音訳ボランティアとして活動できる人材の養成です。修了後は、本講座を主催している2つの音訳ボランティアグループ(東久留米音訳ボランティアグループ『声』、ざ・おんやく2011)のいずれかに入会のうえ、音訳ボランティアとして活動していただきます。

今回の講座で学んだことを活かして、視覚障がい者の方のために活動したいという気持ちがある方の参加をお待ちしています。

*** 音訳ボランティア活動について ***

Q: 音訳ボランティアとは具体的にどのような活動ですか?

A: 視覚に障がいのある方の「目」となり、書籍や雑誌、広報誌、新聞などの情報を忠実に音声で伝える、「声に出して読む」活動です(目に見える情報は、単に文字だけでなく、写真や表、グラフ、地図など、視覚に頼る情報も含まれます)。

Q: 音訳と朗読の違いは何ですか?

A: 音訳は、視覚に障がいのある方に情報を伝えることを目的としており、正確な読み上げが求められます。一方、朗読は、感情を込めて文章を読むことを目的としています。

Q: 音訳ボランティアはどこで活動できますか?

A: 市や図書館、社会福祉協議会などからの依頼による活動のほか、ボランティアグ

ループごとに独自の活動もあります。防音環境の整った録音室は、中央図書館（中央町）、ひばりが丘図書館（ひばりが丘団地）、東部図書館（大門町）、社会福祉協議会（滝山）にあります。

また、最近では、録音のデータ化が主流となっており、録音作業を自宅で行うことも可能です。

Q: 音訳ボランティアはどのような人が向いていますか？

A: 正確な読み上げができる人、人の役に立ちたいという気持ちがある人、コツコツと作業に取り組める人が向いています。

Q: 音訳ボランティアの活動は無報酬ですか？

A: はい、基本的に無報酬のボランティア活動です。依頼者とボランティアとの間で申し合わせにより、有償の活動となることがあります。

Q: 音訳ボランティアをすることでどのようなメリットがありますか？

A: 社会貢献を実感できる、新しい知識やスキルを身につけられる、年齢や経験に関わらず様々な人と交流できる、仲間ができるなどのメリットがあります。

その他

Q: 音訳ボランティアの活動は、高齢になっても続けられますか？

A: はい。市内で活動する音訳ボランティアグループでは、年齢に関わらず長く活躍しておられる方がたくさんいます。